

国連ウィメン日本協会 おおさかニュース vol.7

発行：国連ウィメン日本協会大阪

発行：2024.4月



20周年に感謝！

国連ウィメン日本協会大阪 会長 三輪 敦子

2024年2月に国連ウィメン日本協会大阪（元ユニフェム大阪）が20周年を迎えることができたのは、ひとえに世界に目を向けつつ大阪で女性の問題に取り組んでこられた皆さんの熱い思いのおかげです。

クレオ大阪西(大阪市立男女共同参画センター西部館)で活動しておられた翻訳グループ「CWEST」の皆さんがユニフェムの年次報告書の翻訳に取り組まれたのが、ユニフェム（現UN Women/国連ウィメン）とクレオ大阪、大阪市女性協会(現大阪男女いきいき財団)の接点の始まりでした。この翻訳は、長い間、日本におけるユニフェム年次報告書の公定訳のように扱われ、ユニフェム日本国内委員会がユニフェムへの拠出金増額を求めて外務省を訪問する際にも使われていました。

ユニフェム大阪設立への動きを決定づけたのは、2003年に当時のユニフェム事務局長だったノウリオン・ハイザーさんが来日した際に国連大学で開催されたイベントに、大阪からOWI（大阪市女性国際交流グループ）の北京ダックの皆さんと大阪市女性協会常務理事が参加されたことでした。皆さんの熱意でユニフェム大阪が立ち上がり、国連ウィメン日本協会大阪へと発展してきました。

ユニフェム、そして国連ウィメンへの支援を大阪市女性協会（現大阪男女いきいき財団）のミッション（使命）として位置づけてくださったのは、故徳矢典子元理事長のご英断です。ご相談のために事務所に伺ったことが非常に懐かしく思い出されます。「楽しくやらなくちゃ」といつも温かく励ましてくださったのは、OWI会長でいらっしゃった故澤田和子さんでした。

2019年6月のG20大阪サミットに出席するためUN Womenのヌクカ事務局長(当時)が来日した際には

大阪男女いきいき財団と一緒に、クレオ大阪中央で関西の女性との交流会を開催し、ヌクカさんから「来日中、最も心に残ったイベント」との嬉しい言葉をいただきました。そのご縁もあり、同年12月には、国連女性差別撤廃委員会 (CEDAW) の委員の皆さんが日本を訪問された際にも同様の交流会を開催することになりました。これらが可能になったのはクレオ大阪や大阪男女いきいき財団の皆さんが築いてこられたネットワークと温かい場をつくる企画力のおかげに他なりません。

日本におけるジェンダー平等は、2歩進んだと思うと1歩下がるような状況が続いており、意識や固定観念、暴力、経済参加、政治参加のどれを取っても課題は山積です。世界では、気候危機、新型コロナウイルス感染症、ウクライナやガザを始めとする武力紛争のどれもが、少しずつ積み上げたジェンダー平等への歩みを覆し不平等を悪化させています。

世界に目を向け、世界の女性の努力と歩みに学びジェンダー平等を通じて、私たちが経験したことがない平等で公正で平和な未来をつくるために、微力ながら国連ウィメン日本協会大阪は活動していきたいと思います。



2019.6.29
UN Women事務局長(当時) ムランボ・ヌクカさんを囲む会にて

ユニフェム大阪から国連ウィメン日本協会大阪へ 写真で見る20年の歩み



<p>2004年 ユニフェム大阪 設立</p>	<p>2005年</p> <p>ユニフェム大阪総会</p>	<p>2009年</p> <p>5周年記念 ラオス・タイスタディツアー</p>	<p>2011年 国連ウィメン 日本協会大阪に 名称変更</p>	<p>2014年 6月</p> <p>10周年記念 チャリティコンサート</p>	<p>2014年 12月</p> <p>10周年記念映画上映会 「ベアテの贈りもの」</p>	<p>2016年 11月</p> <p>地域イベント ブース出展</p>	<p>2017年 6月</p> <p>セミナー 地域コミュニティと 女性のリーダーシップ</p>
<p>2017年 11月</p> <p>チャリティ交流会& オークション</p>	<p>2018年 6月</p> <p>シンポジウム SDGs達成に向けた パートナーシップ</p>	<p>2019年 6月</p> <p>UNWomen事務局長(当時) ムランボ・ヌクカさんを 囲む会</p>	<p>2019年 12月</p> <p>CEDAW (国連女性差別撤廃委員会) ×関西女性交流会</p>	<p>2021年 12月</p> <p>人権週間関連セミナー じんけんシネマ</p>	<p>2023年 4月</p> <p>ウクライナ支援 チャリティコンサート</p>		

▶▶▶ 2023年度 活動報告

▶ ウクライナ支援チャリティーコンサート「平和への祈り～ライブ&トーク」

2023年4月29日(土・祝) 会場：クレオ大阪中央 主催：国連ウィメン日本協会大阪、(一財)大阪男女いきいき財団

ウクライナ出身で、同国の民族楽器バンドウーラ奏者のカテリーナさんによる「ウクライナ支援チャリティーコンサート～平和への祈り」をクレオ大阪中央で開催し、およそ120名の方が参加されました。カテリーナさんは、生後1か月の時にチェルノブイリ原発事故を経験。幼い頃からバンドウーラに触れ、音楽団に入り活動を始められました。19歳から日本に拠点を移し、音楽を通してウクライナの支援を続けておられます。



コンサートでは、ウクライナ民謡の「幸せの鳥」「金色の花」のほか、日本の楽曲「ハナミズキ」「翼をください」など7曲を披露され、バンドウーラの音色とカテリーナさんの透き通る歌声にみな聴き入っていました。演奏の合間には、母国に残る家族を心配する思いや、「ウクライナのことをもっと知ってほしい。そして、一日も早く戦争が終わってほしい」と心情を語られました。



来場者の盛大な拍手に応えたアンコールでは、日本の唱歌「ふるさと」をアカペラで披露され、観客も一緒に歌を口ずさむ場面も見られました。カテリーナさんの音楽を通して、ウクライナの歴史や文化を知るとともに「平和への祈り」という共通の願いを、参加者の皆さまと共に共有することができました。コンサート終了後には、皆さまから158,870円の募金をいただき、ウクライナ支援募金として、国連ウィメン日本協会に送金しました。

▶ 「じんけんシネマ2023」 2023年12月3日(日)

会場：クレオ大阪中央 主催：クレオ大阪中央、ヒューライツ大阪 共催：国連ウィメン日本協会大阪

12月に開催された「じんけんシネマ2023」に、共催団体として参加し、ブース出展をしました。このイベントは、映画を通じて人権課題への理解を深めることを目的に、毎年12月の人権週間にあわせて開催しています。今年は、女性が今より社会的に弱い立場であった1960年代に、世界中でブームとなった絵画シリーズの作者をめぐり、真実を公表して闘うことを決意した主人公マーガレットの姿を描いた『ビッグ・アイズ』(2014年/アメリカ)と、60年ぶりに映画化された、島崎藤村の不朽の名作『破戒』(2022年/日本)の2作品を上映しました。

参加者からは、「誰もが平等に発言し、お互いを尊重しあえる環境づくりが大切だと思いました」(ビッグアイズ)、「差別に苦しむ人の気持ちを再認識しました。自分ができる行動につなげたいです」(破戒)、といった感想が寄せられました。上映後のブース出展では、グッズ販売や募金の呼びかけを行いました。今年で6回目の開催となる「じんけんシネマ」ですが、毎年楽しみにして下さる方も少しずつ増え、上映後には「来年の開催も楽しみにしています」といった声をいただきました。



「クレオ大阪東SDGsフェスタ」 2023年10月28日(土) 会場：クレオ大阪東

「クレオ大阪中央フェスタ」 2023年11月19日(土) 会場：クレオ大阪中央



クレオ大阪東SDGsフェスタ



クレオ大阪中央フェスタ

クレオ大阪東とクレオ大阪中央で開催された、地域のおまわりにブース出展しました。毎年多くの方が参加されるイベントですが、今年もたくさんの方にお立ち寄りいただき、募金やグッズ購入などをしていただくことができました。クレオ大阪のフェスタには毎年参加させていただいており、市民の方と直接お話できる貴重な機会となっています。今後もこのような機会を積極的につくり、活動のPRをしていきたいと思っていました。

危機的な状況に置かれている女性と少女を支援するため、
募金を呼びかけました。

2023年度 募金額

ウクライナ支援募金	938,649円
トルコ・シリア支援募金	9,266円
ガザ支援募金	800,000円



国連ウィメン日本協会大阪では、募金箱の設置や、ブース出展、チャリティイベント等を実施し、各募金をよびかけました。

いただいた募金は、UN Women(国連女性機関)を通じて、困難に直面している女性と少女の支援にあてられます。





2023年度、募金及び会費収入は、3,387,185円でした。
温かいご支援とご協力をありがとうございました。

2023年度、「会費」及び「寄付金」納入者一覧（2023年1月1日～12月31日）
*お名前公表を了承いただいた方のみ、掲載させていただいております。（五十音順に掲載）

- | | | | | |
|----------------|----------|-----------|---------|----------|
| 伊藤 裕美 様 | 加藤 佳津子 様 | 瀬戸口 恵美子 様 | 堀口 節子 様 | 山内 千鶴子 様 |
| 井山 稜子 様 | 木下 孝祐 様 | 田中 多津子 様 | 堀口 良子 様 | 山川 文子 様 |
| 上杉 孝實 様 | 黒台 裕子 様 | 田中 陽子 様 | 本庄 紀子 様 | 山崎 美加 様 |
| 大阪市地域女性団体協議会 様 | 小山 皖子 様 | 田村 まき 様 | 松田 洋子 様 | 山本 愛 様 他 |
| 岡田 志津 様 | 佐々木 邦子 様 | 中村 友美 様 | 松村 英子 様 | |
| 小原 純子 様 | 鹿野 幸枝 様 | 橋場 由見子 様 | 森屋 裕子 様 | |

このたび、国連ウィメン日本協会大阪に理事として参加させていただくことになりました。これまで大阪市役所で社会教育・生涯学習、男女共同参画などの部署で従事し、退職後は大阪市の生涯学習センターの運営に携わってまいりました。今年は大震災で年が明け、甚大な被害が発生し今も避難生活を続けておられる方が大勢おられます。世界各地でも戦争、大災害、気候変動などにより、これまでの暮らしの基盤が失われ命が脅かされる状況にあり、女性や子どもたちはよりダメージを受けやすいということが報道されています。国連ウィメン日本協会大阪の活動を通じて、世界中の女性がおかれている現状や課題を多くの方に知っていただき、日常の暮らしに引きつけながら継続的に関心を持ち続けていただくことが大切ではないかと考えます。一つひとつ皆さまと共に学び、できることから始めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



土橋 ひとみさん



黒台 裕子さん

（一財）大阪男女いきいき財団を一昨年に定年退職し、このたび、監事を務めさせていただくこととなりました。採用時に勤務したクレオ大阪西では、多文化共生や国際ボランティア活動の支援等の業務に従事したほか、担当した大阪市の女性指導者海外派遣事業では、1995年、北京で開催された第4回世界女性会議に女性リーダーの皆さんが参加され、私自身も世界の女性が直面する課題や当時の UNIFEM（国連女性開発基金）の活動を知る機会となりました。クレオ大阪中央に配属後の2004年には、大阪で活躍する女性や団体の力を結集して設立された「ユニフェム大阪」の立ち上げにも関わりました。あれから20年。UNIFEM から UN Women へと発展し、今年、設立20周年を迎えるこの時期に、国連ウィメン日本協会大阪の活動に参加させていただくことに深いご縁を感じています。世界の女性たちのエンパワメントに向け、微力ながら尽力させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

世界の女性とつながろう

国連ウィメン日本協会大阪 入会案内

国連ウィメン日本協会大阪は、女性のための国連機関であるUN Womenを大阪から支援する団体です。皆さまからの募金、及び活動の純益は、UN Womenを通じ、世界の女性と少女のために使われます。

世界の女性と少女の笑顔と未来を
大阪から支えるために、
是非お力をお貸しください！

会員募集

年会費(1月1日～12月31日)

個人会員：2,000円(1口)

法人会員：5,000円(1口)

寄付金、年会費の振込先

ゆうちょ銀行振替口座

口座記号番号：00900-9-207691

加入者名：国連ウィメン日本協会大阪



会員のみなさまには、各種お知らせ、イベントのご案内等をお送りいたします。

国連ウィメン日本協会大阪 事務局

〒543-0002

大阪市天王寺区上汐5-6-25

大阪男女いきいき財団内

TEL：06-7656-9040 FAX：06-7656-9045

HP：https://danjo.osaka.jp/unwomensaka/

